

2023年9月30日(土) 10月1日(日)

栗駒山 (1626 m)

～Report by 高橋(雄)～

日本一の紅葉・神の絨毯ともいわれている栗駒山。私はその紅葉のピークを求めて2020年から去年まで3年連続で、しかも1～2週間をおいて一年に2回、計6回も登っている。しかし、ピークには早かったり遅かったり、ピークではあったようだが、ガスがかかっていたりして、満足できていなかった。そこで、今年こそは！と意気込んで企画した。

日程は、例年だと紅葉のピークと思われる9月30日・10月1日の1泊2日で、どちらか天気のいい日に登ればいいと考えた。

しかし今年は猛暑で、残暑が長引いて紅葉が2週間は遅れているとのこと。延期すべきかどうかさんざん悩んだが、参加者の都合がつかず、結局予定通りで決行した。

参加者は、能勢夫妻、堀さん、池戸さん、吉松さん、小野寺さん、中島さん、私の8名。

9月30日(土)

東京7:16発の、東北新幹線はやぶさ101号に、それぞれ東京・上野・大宮から乗車してくりこま高原へ向かう。



9:12 くりこま高原駅着。
レンタカー2台に各4人分乗。
ドライバーは吉松さんと私。

栗駒山の天気は、今日は雨の可能性が高いため、登るのは明日にして、今日は周辺の観光をすることにした。



9:50
最初に訪れたのは、くりこま高原駅から車で22分の伊豆沼内沼サンクチュアリーセンターの淡水魚館。

なぜか傍の草原には山羊がいた。



今回のマップ。①から番号順に回った。9月30日は⑨のくりこま荘泊。10月1日に⑪の栗駒山にハイキング。



淡水魚館では伊豆沼に生息するいろいろな魚の水槽があった。

詳細は[淡水魚館のホームページ](#)をご参照。



10:25

次は[サンクチュアリーセンターの鳥館](#)。



伊豆沼に飛来する白鳥をはじめとする様々な鳥に関する展示があった。

詳しくは[鳥館のホームページ](#)をご参照。



二階のラウンジからは伊豆沼が見え、望遠鏡で鳥を観察することができる。

しかし鳥は白サギが遠くにすこしいるだけで、めぼしい成果はなかった。



みんなが二階で望遠鏡を覗いているころ、堀さんは外に出て遊歩道から蓮を見たりしていた。↓蓮の花は8月までで終わっていた。



←白いキノコの行列を見つけていた。



伊豆沼の次は
11:30 双林寺。
詳しくは[双林寺のホームページ](#)ご参照。

珍しいほおづきを見つけた。↓



←姥杉(うばすぎ)
(樹齢 1200 年前後)

曼殊沙華もちらほら咲いていた。



11:52
ファミリーレストランまるまつで昼食。



寿司そばセットなどでお腹を満たした。





昼食後はセブンイレブンに寄って今夜のお酒や明日の行動食などを調達し、

13:24

栗駒山麓ジオパークビジターセンター。

詳しくは[施設のホームページ](#)ご参照



ここでは平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震で発生した大規模な地すべり・自然災害や、栗駒山、伊豆沼、世界谷地湿原などの情報を発信している。

目玉は、体育館っぽい建物に 8 台のプロジェクターが設置されており、壁面と床面の巨大スクリーンに栗駒山から伊豆沼・内沼までの床面航空写真や、荒砥沢地すべりなどの紹介映像が映し出され、大迫力で体感できることだ。



←その映像の一つ。栗駒山の紅葉。

明日、これが見られるといいが・・・

子供が床面スクリーンに入って写っている。

↓伊豆沼の蓮

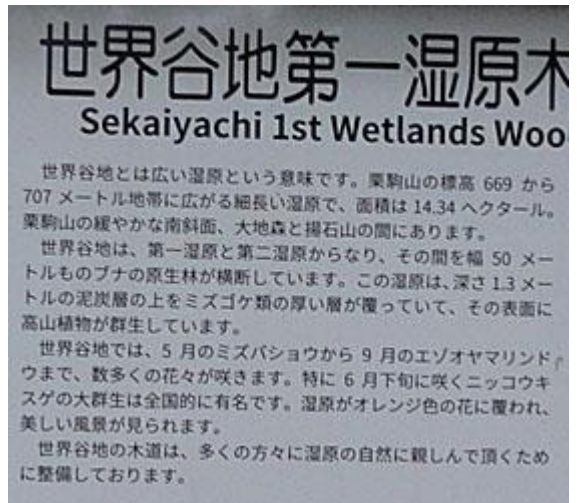




ジオパークを 40 分ほど見学した後、車で 30 分移動。

14:42 世界谷地湿原

雨が降ってきそうなので傘を持って出た。入口の看板を見ていたら、虫が顔の周りに寄ってきて鬱陶しいので虫除けをとり、車に戻る人もいた。(堀さんなど)



駐車場から林の中の緩やかな坂を 15 分ほど登ると第一湿原の木道に出た。

すると、堀さんが、「傘がない！」と言い出した。「虫除けをとり、車に戻った時に、虫除けは持ってきたが、傘を車においてきたようだ。」とのこと。今から戻ると遅くなるので、雨にならないことを祈って前進。



紅葉している木もあった。ドウダンの葉↓も赤くなっていた。世界谷地湿原は標高 650m 前後。これなら明日の栗駒山は標高 1600m だから紅葉は期待できるか？



有名なニッコウキスゲの群生は終わっていたが、リンドウなどがチラホラ咲いていた。



リンドウ



ウメバチソウ



サワギキョウ



イワショウブ?



第一湿原から 20 分ほど登って第二湿原へ。
様子は第一湿原と似たような感じ。

15:34

第二湿原の上端まで歩いてきた。
時間も遅く、雨がポツポツと降りはじめた
ので、ここで引き返すことにした。

小雨になってきたのでみんな傘をさした。



虫よけをとりに戻った時に傘を車に置いて
きてしまったという堀さんは濡れるしか
ない？

→小野寺さんがザックに入れて持ってきた
レインウエアを堀さんに貸してあげた。



だが、あと少しで駐車場に戻るとい
うところで、傘がひとつ、道に落ちて
いた。それは、なんと、堀さんの傘
だった！



堀さんは傘を車においてきたのではなく、道に落としていたのだ。時間が遅いので我々の後には登ってくる人はなく、そのまま残っていた。堀さんには毎度ながら、今回も話題を提供していただきました。



世界谷地湿原から車で11分。
16:19 今夜の宿、[くりこま荘](#)着。
熊とタヌキの剥製がお出迎え。



温泉は源泉100%のかけ流し。
硫黄の香り(?)がする酸性泉。

ゆったり浸かって風呂上がりの乾杯。



18:00 夕食。



採れたての山菜、ずんだ餅や松島湾のカキフライなど宮城ならではの食材を使った豪華料理。

中でも売り物は岩魚づくし。
岩魚のお造り～田楽焼き～丼。
ボリュームたっぷりで食べきれないほどだが、完食された方も結構いた。



松島湾のカキフライ



岩魚のお造り



岩魚田楽焼き



岩魚丼

一時間以上料理を堪能し、夕食後は部屋に戻ってしばしまったり。
また温泉に入る人もいたりして、21時過ぎに就寝。
外は雨。時折強く降っている。明日までにはやみますように・・・

10月1日(日)

朝5時半ごろからそれぞれ起きだした。

温泉は6時から入れるので一風呂浴びた。幸いなことに雨は止んでいた。露天風呂で大きく伸びをした。

朝食は7時半からなので、外へ出て散歩した。



朝霧でもやっているが、上空は時々青空も見えている。
広い駐車場はドクターヘリも降りることがあるようだ。



近くにはコスモスやキバナコスモス、ダリアなどが咲いていた。



7:30 朝食。一般的な旅館のメニュー。



←クマさん会ユニホームのカラーバリエーションが目立つ。



8:50 宿の前で写真をとって出発。



登山口のいわかがみ平より 3.5km 手前にある「いこいの村栗駒跡地駐車場」にレンタカーを止め、協力金一人500円を払い、そこから先は一般車が交通規制のため、シャトルバスに乗り換えて向かう。



9:18 いわかがみ平 (1,115m) 着。

トイレをすませたり準備をして、



9:27 スタート写真を撮る。
クマさん会の栗駒山では定番の場所。
2020年9月26日↓はバックのナナカマドがもっと赤かった。やはり今年は遅れている。



今回の GPS 軌跡。登山道は最短の中央コースの往復だ。

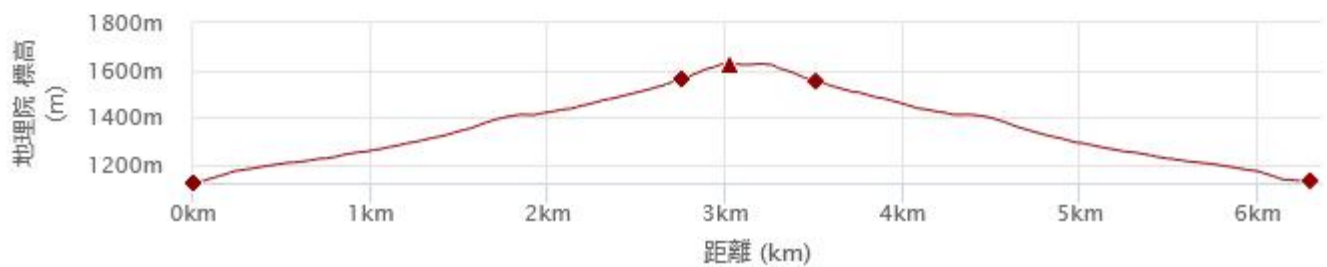
GPS
03:38

距離
6.3 km

登り
492 m

下り
484 m

地図/標高グラフ



中央コースは下半分以上が石畳の遊歩道。
しばし緑の中を登って行く。
紅葉には程遠い。今年も早すぎたか？



10:08 小休止。
少しづつ紅葉・黄葉が混じってきた。



10:38 石畳の遊歩道の終点まで登ってきた。

栗駒山の頂上が見えている。



山頂手前の神の絨毯の紅葉は、やはりピークにはまだ早かった。
しかし、まあ、そこそこの紅葉ではある。
評価の厳しい中島さんからは一応「合格」のお言葉をいただき、ちょっと安堵。



能勢さんの奥さんは、そろそろ体力が限界とのことで、この景色を見届けたところで、先に引き返すことになり、ここでひとまず全員の集合写真を撮った。

以下は本来撮りたかった写真。(昨日の栗駒山麓ジオパークの巨大スクリーンの写真との合成)



後の7人は引き続き山頂をめざす。



ガスがかかってきて山頂が見えなくなっ
た。



小雨が降りだし、雨具をつける。
風は少しあるが傘でも十分しのげる程度。

山頂直下で見かけた植物



リンドウ



シラタマの実



トウチソウ



山頂直下から見下ろした景色。
草紅葉等も見られる。

11:23 山頂着。



山頂には、なんと浴衣姿の中国人グループがいて、我々の写真を撮ってくれた。おかえしにパチリ。



山頂西側のミネカエデはまさに見ごろ。昨年池戸さんと登った時は終わっていて葉が散っていたが、今回は当り！





紅葉の中でしばし写真を撮りまくり。



山頂に戻り、能勢さん、池戸さん、中島さん、私の4人は軽く昼食をとることにした。

堀さん、吉松さん、小野寺さんはお腹も減っていないし、雨がひどくならないうちに・・・ということで先に下山を開始。



11:56

昼食をそそくさとすませて、我々も下山開始。

←山頂から神の絨毯方面のショット。



下山しながら紅葉写真を上から下から撮り
あった。



幸い雨はあがり、見通しもきいてきた。



上りの時より下りの時のほうが紅葉が進ん
だように見えるのは気のせい？
鮮やかな緑との対比もなかなか良い。↓



紅葉を撮りながら石畳の遊歩道まで下って
きたが、それから先はとっとこ降りて、
13:10にはみんなレストハウスに着いてい
た。
登りは約2時間、下りは約1時間ほど。

先に降りてきた堀さんたちはレストハウス
でラーメンなどを食べていた。



13:30

いわかがみ平からシャトルバスに乗車。
もうすっかり晴れていた。

臨時駐車場からレンタカーで昨夜泊まった
くりこま荘へ。



くりこま荘の温泉で汗を流した。

露天風呂にはオニヤンマの模型が吊るして
あった。アブ避けになるらしい。

それを聞いて中島さんはレストハウスでオ
ニヤンマの飾りを買っていた。



くりこま荘を出てレンタカーでくりこま高
原駅へ戻り、車を返し、

16:00

駅近くのイオンモールの飲食コーナーで打
ち上げの乾杯。



くりこま高原駅を

16:58 発の東北新幹線で戻った。

18:30

大宮で能勢夫妻、吉松さん、私は下車。

小野寺さんは上野、堀さん池戸さん、中島
さんは東京まで。

それぞれ家路についた。

てんきとくらすの栗駒山の登山指数は 9/30 も 10/1 も「C」。猛残暑が長引いて紅葉も大幅に遅れているという
ことで、どうなることかと大いに気をもみましたが、結果大荒れになることもなく、お目当ての神の絨毯のピークには当たらなかったものの、山頂の紅葉は十分堪能できました。みんな無事で何より。お疲れさまでした。